

# ニ ュ ー ス 済 生

THE NEWS SAISEI



発行所 社会福祉法人 済生会  
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073  
電話 03-3454-3311  
FAX 03-3454-5576  
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

## 高松宮記念基金にご協力ください

令和5年1月～4月分実績

◎本会会員加入状況	37,147人	83.4%
	41,747口	8,349万円
◎外部会員加入状況	1名	2千円
◎一時寄付状況	11件	29万円
	(内、自販機関係)	6万円
◎募金箱		18万円

## CEの仕事を紹介 済生会の力17集刊行

済生会のカシリーズ第17集「いのちのエンジニア 臨床工学技士」が発刊された。

全国済生会臨床工学技士の協力を得て制作した本誌は、医学と工学の両面から専門的にアプローチする医療機器のスペシャリストである臨床工

学技士にスポットを当てた。AIやロボットで高度化・複雑化する医療機器の操作や保守点検など医療技術の進歩とともに仕事内容が変化している様子を紹介。医師や看護師が担ってきた業務のタスクシフトやタスクシェア、臨床工学技士の知的財産を生かし、企業と医療機器の共同開発をする「医工連携」にも迫っている。



A4判26ページ。配送依頼は広報室まで。(広報室)

# インクルーシブ社会実現へ「コープみらい」と連携協定

済生会は首都圏に展開する生活協同組合コープみらい（新井ちとせ理事長）と協力してソーシャルインクルージョンに基づくまちづくりを進めることで合意、5月12日に誰一人取り残さないインクルーシブ社会の実現に向けて連携を強化する協定を締結した。医療・福祉と日常生活のサポートという両者の特長を生かして活動を推進する。



生活協同組合コープみらい・社会福祉法人 済生会  
インクルーシブ社会の実現に向けた協定締結式

協定は①健康増進、食育、生きがいづくり②地域コミュニティでの交流を活性化③子ども、高齢者、障がい者等の地域社会への参加④子育て支援⑤環境に配慮した取り組み⑥災害対策⑦イベント開催、情報発信⑧その他目的を達成するために必要な取り組みの8項目で協力するとしている。

協定の締結式は同日、埼玉県さいたま市のコープみらい本部で行なわれ、炭谷茂理事長とコープみらいの新井ちとせ理事長が署名して協定書を交わ

した。

炭谷理事長は「認知症高齢者や障がい者、刑務所出所者など社会から孤立している人が数多くいる。行政や企業が双方で取り組んでいるが間に落ちる問題がある。済生会とコープみらいのようなかんじが一緒になってインクルーシブ社会の実現を目指したい」と訴えた。新井理事長は「コープみらいは今年で10周年。地域の暮らしに寄り添い、さまざまな活動を進めてきた。済生会と手を携えることで、コープみらいの理念・ビジョン、SDGsの実現に向け、

一人ひとりが出資金を出し合い、暮らしを向上させていく国内最大の消費者生活協同組合で、組合員は370万人。東京・千葉・埼玉で食品宅配や店舗事業などを実施するほか、組合員同士が支え合い、助け合う「みらいひろば」や「子育てひろば」など、コミュニティづくりなども行なっている。

済生会との関わりは、2022年6月、コロナ禍における生活困窮者への支援と日本の米づくりを応援するため、本会に合計6.6トンの精米を寄贈。（埼玉）鴻巣病院と（東京）向島病院がなでしこプラン（済生会「生活困窮者支援事業」の一環として取り組む子ども食堂に役立てた。

（総合戦略課）

## ソーシャルインクルージョン 活動の補助対象事業を募集

済生会が医療と福祉サービスを通じて、地域のつながりを再構築し、誰も排除されないまちづくりを推進する「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」。

その活動における補助対象事業の募集が今年度も始まった。ソーシャルインクルージョンが根付く社会とSDGsの目標達成に向け、支部・施設が創発的なアイデアで取り組む活動の継続や事業の立ち上げを支援する。補助金は一活動につき最大100万円。詳細は4月18日に支部に通知した「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画補助要綱」を参照。締め切りは6月23日。

（総合戦略課）

（総務課）

（総務課）

（総務課）

令和5年度社会福祉施設長会議が4月13日本部で開かれ、120人が出席した。

炭谷茂理事長が挨拶及び基本説明、松原了理事

が第3期中期事業計画、高齢者虐待防止等の解説、医療的ケア児支援の推進など重要事項を説明した。

担当室長・課長が次のとおり本部業務を説明した。①令和5年度予算の概要②令和4年度決算スケジュール③クラウドファンディングの活用④広報関係⑤済生会ソーシャルインクルージョン推進計画⑥新型コロナウイルス感染症に関する本会の対応⑦老健及び特養の経営状況⑧無料低額利用事業⑨福祉施設の介護事故報告⑩病院経営状況⑪D

ハイブリッドで89人

令和5年度看護部長・副学校長会議が4月19日、会場参加とオンラインのハイブリッドで開かれ89人が出席した。

炭谷茂理事長が挨拶及び基本説明、松原了理事が第3期中期事業計画、医療的ケア児支援の推進など重要事項を説明した。本部業務説明は担当室長・課長が行なった。①令和5年度予算の概要②

6月の予定

7日 医療施設事務局長会議（本部）  
14日 理事会（本部）  
30日 評議員会（本部）

## 春の叙勲

4月29日 本会関係者

旭日中経章  
愛媛県済生会理事  
大塚 岩男氏



旭日小経章  
滋賀県済生会理事  
越智 眞一氏



旭日双光章  
元宮崎県済生会理事  
渡邊 康久氏



瑞宝小経章  
新潟県済生会理事  
高井 盛雄氏



瑞宝小経章  
岩手県済生会理事・陸前高田診療所所長  
伊東 紘一氏



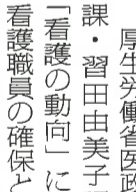
富山県済生会支部長・福島総合病院名誉院長  
井上 仁氏



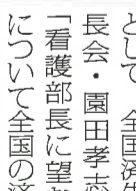
元静岡県済生会監事  
高尾 吉炳氏  
岡山県済生会支部事務局  
浅野 嘉彦氏



静岡県済生会理事  
渡邊 昌子氏



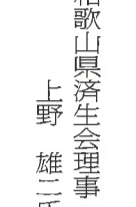
石川県済生会理事  
高野 善一氏



元愛媛県済生会常務理事  
祖母井 明氏



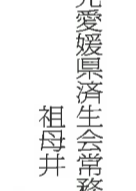
元和歌山県済生会理事  
上野 雄二氏



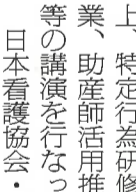
元宮崎県済生会会長  
稲用 博美氏



元山形県済生会理事  
青山 永策氏



富山県済生会支部長  
野田 八嗣氏



元愛媛県済生会常務理事  
祖母井 明氏



（看護室）



（看護室）



（総務課）



### 新任施設長の抱負

「施設は可能な限り自立した日常生活を送れるよう、多様な職種と協働し、在宅復帰を目指してまいります。笑顔は私たちの『おもてなし』をモットーに支援いたします。経営改善を図り、入所者の人生の晩年を豊かなものにするように努めます」



堀 正博 鴻巣介護老人保健施設「こうのとり」

昭和17年生まれ。埼玉県出身。41年東京医科大学医学部卒。42年同大学神経精神医学教室入局。上都賀総合病院、虎ノ門病院を経て、54年鴻巣病院入職。57年副院長。平成6年院長。24年名誉院長。令和5年4月施設長に就任。

「当施設は可能な限り自立した日常生活を送れるよう、多様な職種と協働し、在宅復帰を目指してまいります。笑顔は私たちの『おもてなし』をモットーに支援いたします。経営改善を図り、入所者の人生の晩年を豊かなものにするように努めます」

昭和32年生まれ、京都府出身。58年鳥取大学医学部卒、同年5月京都府立医科大学附属病院を経て平成9年滋賀県病院入職。14年吹田病院整形外科副部長。17年滋賀県病院整形外科部長、25年副院長。令和5年4月ケアポート栗東施設長に就任。



高橋 誠 栗東介護老人保健施設「ケアポート栗東」

昭和16年生まれ。鳥取県出身。42年鳥取大学医学部卒。公立病院等の勤務を経て令和3年11月高砂ケアセンター非常勤医師。5年4月施設長に就任。

昭和29年生まれ。奈良県出身。55年自治医科大学医学部卒。へき地診療所、奈良県立医科大学整形外科関連病院勤務を経て、平成11年中和病院整形外科部長。26年医療部長。27年副院長。令和元年特任部長。5年4月シルバーケアまほろば施設長に就任。



内尾 尚 中和病院併設「シルバーケアまほろば」

昭和20年生まれ。佐賀県出身。46年熊本大学医学部卒、同大学院修了。54年社会医療法人親仁会米の山病院。平成8年八女市黒木町国保直営木屋診療所。令和5年4月老健大牟田ライフケア院・同ユニット施設長に就任。



岩尾 重雄 大牟田ライフケア院・同ユニット施設長

昭和47年生まれ。山形県出身。東北福祉大学総合福祉学部卒。平成6年特養ながまちに入職。介護職員、介護支援専門員、管理課長を経て、令和5年4月に施設長に就任。



山形 勝也 特別養護老人ホームながまち荘

昭和34年生まれ。長野県出身。57年専修大学卒。59年佐久市役所入職。福祉・財政・庶務各課長、福祉・企画各部長を経て平成30年総務部長。令和5年4月佐久市特別養護老人ホームシルバークラウドみつい施設長に就任。



小林 和美 特別養護老人ホームとちの木荘

昭和37年生まれ。滋賀県出身。60年滋賀県病院附属看護専門学校卒業。同年滋賀県病院入職。同病院副院長・看護部長を経て令和5年4月淡海荘に就任。



松岡 美 淡海荘

昭和43年生まれ。岡山県出身。平成3年大阪産業大学経済学部卒、岡山大学経済学部入職。岡山養護センター、特養憩いの丘の勤務を経て、29年老健備中荘事務長、30年吉備病院事務長兼務。令和5年4月特養憩いの丘及び特養宇垣荘施設長に就任。



高橋 和明 特別養護老人ホームみなみがた荘

昭和36年生まれ。岡山県出身。59年同志社大学経済学部卒、岡山済生会総合病院入職。平成12年特養みなみがた荘事務長。17年特養憩いの丘事務長。23年憩いの丘施設長。令和5年4月みなみがた荘施設長に就任。



秋山 敏夫 特別養護老人ホーム宇垣荘

昭和40年生まれ。山口県出身。63年桃山学院大学社会学部卒。平成24年山口大学大学院医療福祉経営コース修了。特養等を経て11年山口地域ケアセンターに入職。16年特養船園事務長心得。23年にほろ副施設長。26年特養・養護老人ホーム福寿園施設長。29年在宅複合施設やすらぎ施設長。令和5年4月特養福寿園施設長に再就任。



河村 靖則 特別養護老人ホーム福寿園

昭和37年生まれ。愛媛県出身。59年国立大阪病院看護助産学校看護科卒。民間の基幹病院の勤務を経て平成6年松山訪問看護ステーション入職。28年から同所長を経て、令和5年4月始原特養・ケアハウス始原施設長に就任。



三浦 美 始原特養老人ホーム・ケアハウス始原

昭和36年生まれ。熊本県出身。57年聖カタリナ女子短期大学卒業後、私立の保育園に入職。平成25年園長、令和4年保育専門学校教員を経て5年4月にてこ青空保育園園長に就任。



井上 和夫 特別養護老人ホーム貴船園

「子どもを命と笑顔を守るため、『今をもっともよく生き、望ましい未来を創りだす力の基礎を培う愛と希望を持てる人間性を養う』という理念をもとに保護者に寄り添い、職員を支え、地域に愛される保育園となるよう努めてまいります」

「施設は、同一建物内に特養と養護が混在した施設です。『質の高いサービスの提供が組織の使命であること』を第一に考え、入居者本意で、その人らしい生活ができるように努めます」

「地域で暮らす皆様に愛される施設、職員がやりがいをもって働ける施設を目指して努力します」

## ソーシャルインクルージョン

### ってなんだろう？

済生会が未来につないでいきたい「新しい価値観」です。

## ソーシャルインクルージョンを多くの人に知ってもらうためのウェブメディアです。

この春、リニューアルしました！

シンク！ストーリーズ

ソーシャルインクルージョン辞典

シンク！

<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>